



子育てに喜びを!

子育てしたいまち神埼

子育て相談・支援サービスを紹介します

子育てに喜びを感じられるまちづくり、そして子どもたちがここで育ってよかったと思えるまちづくりを進めています。

今回は、子育て支援策についてご紹介します。市内には子育てに役立つサービスや相談できる場所がたくさんあります。ぜひ気軽にご利用・ご相談ください。

妊娠前

子育て世代包括支援センター

妊娠前から切れ目のない支援として相談などをお受けします。

問 健康増進課 ☎51-1234

不妊治療助成

不妊治療に要する費用の一部を助成します(夫婦間で行う保険が適用されない「人工授精」「体外受精」「顕微授精」が対象)。

問 健康増進課 ☎51-1234



妊娠～出産

出産・子育て応援給付金

妊娠1回につき5万円(妊娠届後)、出生児1人につき5万円(乳児訪問後)を給付します。

問 健康増進課 ☎51-1234

新生児聴覚検査費用助成

保険適用外で新生児聴覚スクリーニング検査を受けた乳児を対象に1人上限3,000円を助成します。

問 健康増進課 ☎51-1234

子ども家庭総合支援拠点

支援が必要な子どもとその家庭および妊婦に対して、こども家庭支援員が専門的な相談や情報提供、訪問等による継続的な支援をします。

問 こども家庭課 ☎37-3873

妊産婦産前産後支援ヘルパー派遣

出産前後(産後6カ月まで)の体調不良により家事や育児を行うことが困難で日中介助者がいない家庭にヘルパーを派遣し、家事や育児の一部を援助します。

問 こども家庭課 ☎37-3873

ベビー用品貸与

ベビーベッドは1歳まで、ベビーカー(1人用、2人用)は2歳まで無料貸与を行っています。

問 こども家庭課 ☎37-3873



利用者の声



ベビーベッドを1年間お借りしました。ベッドは購入すると高額な上、利用期間も短く、利用後は収納場所が必要になるので、無償レンタルは大変助かりました。



いつも子育て支援センターを利用しています。初めての子育てで不安な中、スタッフの方が親身に相談に乗っていただけると大変助かっています。また、定期的開催されるイベントは、工夫が凝らされていて子どももすごく楽しんでいました。今後も利用させていただきます。

就学前



子どもの医療費助成

0歳から就学前の子どもが医療機関で診療を受けた場合に、保険診療にかかる一部負担金の額を助成します。

問 市民課 国保医療係
☎37-0115

病児・病後児保育 (→P12)

保護者の仕事の都合などで病気のお子さんのお世話が難しいときに、対象施設で一時的にお預かりします。

問 こども家庭課 ☎37-3873

子育て支援センター (→P26)

(☎44-4908)

専任の保育士による育児相談や親子で遊べる場所の提供などを行っています。

問 こども家庭課 ☎37-3873

ファミリーサポートセンター (☎44-4908)

子育て中の人がある急な用事などで子どもの世話ができないときに、地域の人に応援する、会員同士の相互援助事業です。(会員登録有)

保育園・認定こども園

市内にある保育園と認定こども園、認可外保育園あわせて12園でお子さんをお預かりします。

問 こども家庭課 ☎37-3873

私たちがお待ちしております!



延長保育・一時保育(要事前申込)

保護者の勤務時間などにより、保育認定時間を超えて保育が必要となったお子さんに対して延長保育を行います(19時まで)。また、未就園児の一時預かりも行っています。

問 こども家庭課 ☎37-3873

就学後～18歳

英語教育

必修化された小学3年生以上にに加え小学1、2年生も英語活動を週1時間行っています。

問 学校教育課 ☎37-3592

放課後児童クラブ (→P12)

放課後に保護者がいない小学1年生から6年生までの児童を預かり、安全な遊び場の提供や生活指導などを行います。

問 社会教育課 ☎37-3593

ドリームパーク

小学1年生から6年生を対象に、水曜日の放課後、地域のボランティアと一緒に料理や工作、ニュースゲームなどを行っています。

問 社会教育課 ☎37-3593

学校給食費助成

市内小・中学校または特別支援学校に通学する児童・生徒の給食費を助成しています。また、月に2回程度デザートを提供を行っています。

問 学校給食共同調理場
☎51-4008

小・中学生および高校生等医療費助成

小学生から高校生等までの児童・生徒が医療機関等で診療を受けた場合に、保険診療にかかる一部負担金の額を助成します。

問 市民課 国保医療係 ☎37-0115



配信中! 母子手帳アプリ「かんざきっ子」

お子さんの成長の記録や予防接種のスケジュール管理、子育てに関する情報など市からのお知らせを取得できます。

ダウンロードはこちらから



▲神崎市子育てwithねっと

子育ての情報は「神崎市子育てwithねっと」で発信しています。



9/14-15

ますますの健康を祈念して 長寿をお祝い

市では敬老の日の記念行事として、100歳以上の人と今年度中に100歳、80歳を迎える人に祝金を贈呈しています。

今年度、市内で100歳以上の人は31人、うち新たに100歳となる人は10人です。市内最高齢者は、古澤タカノさん(神埼町出来町)で104歳。男性最高齢者は、藤山初次さん(神埼町小淵)で103歳です。

市長は100歳を迎えられる人と市内最高齢者を訪問し、長寿をお祝しました。



新100歳の米倉マツエさん(神埼町駅ヶ里)

9/29

神埼清明高校生と老人会の交流会 体操やゲームを楽しむ

神埼町の神陽団地公民館で、福祉を学ぶ神埼清明高校3年生19人と老人会メンバー約20人との交流会が開かれ、介護予防につながる歌体操や脳トレのゲームなどを和気あいあいと楽しみました。

参加者は「ふるさと」などの歌に合わせて手を振ったり足踏みしたり、色紙の色によって手の動きを変えるゲームなどを高校生と一緒に熱心に取り組んでいました。最後はアロマオイルを使ったハンドマッサージを受け、リラックスした様子でした。



9/15

九州・全国中体連大会出場者 市長表敬訪問 大会の報告と今後の決意も

今年の8月に開催された九州中学校体育大会ならびに全国中学校体育大会に出場した生徒61人が市長を表敬訪問し、結果を報告しました。

剣道競技・女子個人で全国中学校体育大会に出場し、準優勝に輝いた牛嶋柚希さん(神埼中3年)は「全国制覇ができずに悔しい思いはあるが、それを糧にして高校

でも頑張りたい」と報告。

また、ソフトボール競技・女子で九州中学校体育大会に出場した野口奈那さん(千代田中3年)は「九州大会は初戦で負けてしまったが、全員で全力プレーをして戦うことができ、貴重な経験をする事ができた。この経験を活かして今後も頑張りたい」と決意を述べました。

市長からは「一人ひとりが頑張ってくれたことが嬉しい。今後も市のスポーツ発展に貢献して欲しい」と感謝の言葉が送られました。



10/2 スロヴァキアオペラミニコンサート 迫力ある歌声に感動

はんぎーホールでスロヴァキアオペラミニコンサートが開かれ、市内3中学校の1・2年生と招待された市民の約500人が圧倒的な歌声を堪能しました。

スロヴァキア国立歌劇場のソリストたちが「タイム・トゥ・セイ・グッバイ」など12曲を披露。ユーモアあふれる表情や動きと迫力ある歌声に会場からは大きな拍手が送られ、最後は「赤とんぼ」「花は咲く」を一緒に歌い交流しました。

鑑賞した天本道由貴さん(神埼中2年)は「オペラは初めての経験で、迫力がすごくて面白かった」と話しました。



10/7 第18回神崎市子ども相撲大会 豆力士たちが熱戦展開

第18回神崎市子ども相撲大会が神埼町の榎田宮相撲場で行われ、42人が参加しました。

結果は次のとおりです。

【団体の部】

低学年の部 優勝 神埼・北方・青木合同
準優勝 佐賀・神埼合同

【個人の部】

小学1年生の部 優勝 片江奏太(千代田東部小)
準優勝 野田勇樹(千代田西部小)
3位 石橋大和(千代田西部小)
中学生の部 優勝 佐藤優也(神埼中1年)



10/11 神埼ジュニア新体操クラブ かささぎ杯で頂点！全国大会へ

神埼ジュニア新体操クラブのメンバーが、11月に群馬県で開催される「第41回全日本ジュニア新体操選手権大会」への出場権を獲得し、市長に報告しました。

同クラブは9月30日、10月1日に行われた「かささぎ杯」で優勝し、全国大会出場を決めました。

キャプテンの樋口諒さん(神埼中3年 = 写真右端)は「皆で努力し作り上げてきた演技を披露して必ず優勝したい」と意気込みを語り、市長は「全国大会での活躍も楽しみにしている」とエールを送りました。



10/14 高志神社 秋祭り 新装なった能舞台で狂言披露

高志神社の秋祭りでは、千代田町高志地区に約200年前から伝わる「高志狂言」や、フラダンス、日舞が披露されました。

檜の床が新しくなった能舞台で、高志狂言保存会の井手敏さんらが、田舎大名の無知を笑いこいた「萩大名」を朗々と演じ会場を沸かせました。

子ども狂言では千代田中部小6年の古賀憲司さん、森湊さん、古川颯紀さんが、昨年の夏休みから練習してきた「部須」を熱演。「本番が一番よくできた」と納得のいく演技となりました。

